

主 编
徐 泰 来

(一八四〇—一九一九)

中国近代史記

下



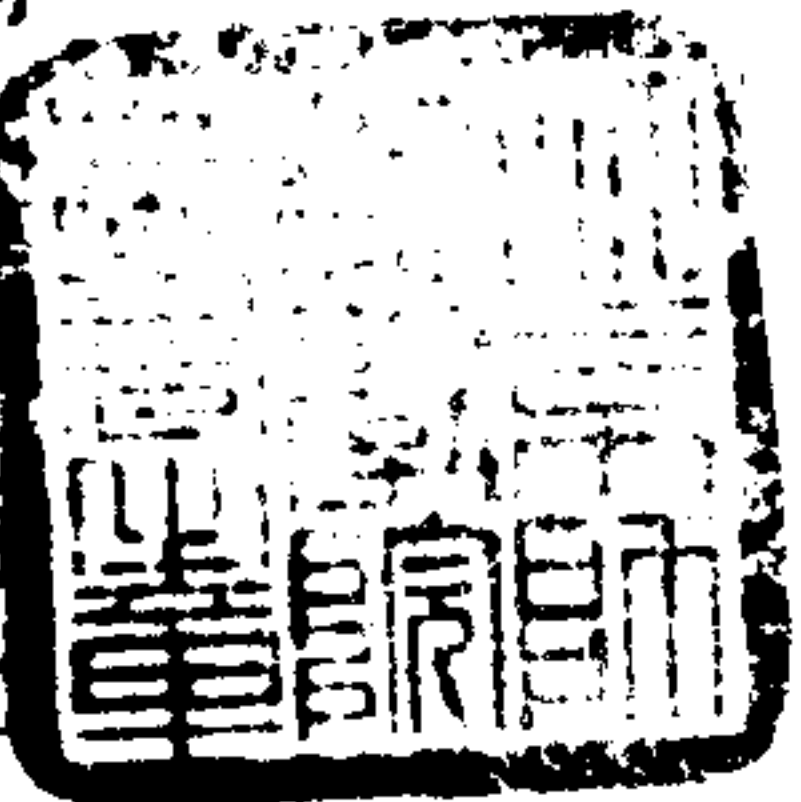
徐泰来 主编

中国近代史纪

周谷城题



湖南人民出版社



首都师范大学图书馆



21176847

下

1176847

中国近代史记

下

徐泰来主编

责任编辑：李建国

*

湖南人民出版社出版、发行

(长沙市河西银盆南路 67号)

湖南省新华书店经销 湖南省桃江县印刷厂印刷

*

1989年8月第1版第1次印刷

开本：850×1168 1/32 印张：19.8125

字数：478548 印数：1—2000

ISBN7—217—00658—9

K.88 定价：9.15

(全书定价：31.65元)

下 卷

主 编：徐泰来

执笔人（以姓名笔划为序）：马志亮 王道成 王 翔 王继平
邓亦兵 邓超群 尹乐永 石彦陶 包正义 孙孝恩
孙占元 安静波 许山河 吴加章 吴荣政 汤光远
杨东梁 肖忠生 肖铁肩 陈崇凯 陆 炎 李书源
罗澍伟 宝成关 林建曾 范海泉 胡 刚 徐大庆
徐 泓 徐泰来 袁巨汉 聂智鲁 郭汉民 郭世佑
黄福才 黄德发 章育良 庾 平 程昭星 彭大成
彭明哲 彭德才 彭 健 喻 凡 蔡铭泽 廖宗麟

传

DA 92/17

1

目 录

下 卷

传

列传分大、中、小三种，大传七千字以上，中 传二千 字 以上，小传一千字上下。为了便于查阅，混合按姓氏笔画编排：

二 画

丁日昌.....	(1)
丁汝昌.....	(6)
丁宝桢.....	(8)
丁拱辰.....	(10)
丁燮良.....	(12)

三 画

马化龙.....	(14)
马建忠.....	(15)

四 画

韦昌辉.....	(18)
----------	--------

王 韬	(20)
王文韶	(23)
王先谦	(24)
王闾运	(27)
王德榜	(30)
文 祥	(31)
文廷式	(33)
邓世昌	(35)
邓廷桢	(37)
日意格 德克碑	(39)

五 画

左宗棠	(41)
左宝贵	(51)
石达开	(53)
叶德辉	(55)
包世臣	(57)
白彦虎	(59)
冯 如	(60)
冯子材	(63)
冯云山	(64)
冯国璋	(65)
冯桂芬	(67)

六 画

伊里布	(69)
-----	--------

伍廷芳·····	(70)
朱执信·····	(73)
朱其昂·····	(75)
关天培·····	(76)
许乃济·····	(78)
安维峻·····	(79)
汤化龙·····	(80)
刘永福·····	(89)
刘师培·····	(91)
刘光第·····	(93)
刘复基·····	(94)
刘铭传·····	(97)
刘揆一·····	(99)
刘道一·····	(101)
刘锡鸿·····	(102)
刘锦棠·····	(105)
刘坤一·····	(107)
那拉氏(慈禧太后)·····	(109)
孙中山·····	(127)
华衡芳·····	(138)

七 画

志 刚·····	(140)
严 复·····	(142)
严信厚·····	(152)
杜文秀·····	(153)

杨 芳	(155)
杨 度	(156)
杨 锐	(158)
杨秀清	(159)
杨岳斌	(162)
杨深秀	(163)
杨衢云	(164)
李元度	(166)
李秀成	(168)
李秉衡	(170)
李泰国	(172)
李烈钧	(173)
李鸿章	(175)
李鸿藻	(188)
李提摩太	(189)
吴大澂	(191)
吴佩孚	(193)
吴禄贞	(194)
邹 容	(196)
宋 庆	(198)
宋教仁	(199)
汪康年	(204)
汪精卫	(205)
沈家本	(207)
沈葆楨	(209)
陆荣廷	(211)

陆澂祥	(213)
陈 炽	(214)
陈天华	(216)
陈连升	(218)
陈作新	(220)
陈启源	(222)
陈其美	(223)
陈宝箴	(226)
张 勋	(228)
张 謇	(229)
张之洞	(239)
张秀眉	(252)
张佩纶	(255)
张宗昌	(256)
张荫桓	(258)
张树声	(259)
张振勋	(261)
张德彝	(262)

八 画

林 旭	(263)
林凤祥	(265)
林则徐	(266)
林觉民	(277)
林泰曾	(281)
旻 宁(道光帝)	(283)

罗振玉	(294)
郑观应	(296)
郑孝胥	(300)
官文	(302)
周盛传	(303)
肯尼萨尔	(305)

九 画

荣禄	(307)
威妥玛	(308)
胡元倓	(310)
胡汉民	(313)
胡光墉	(315)
胡林翼	(316)
禹之谟	(319)
祝大椿	(321)
段祺瑞	(322)
秋瑾	(325)
奕訢	(329)
奕劻	(341)
奕经	(343)
奕譞	(344)
洪仁玕	(345)
洪秀全	(349)
姚莹	(358)

荫 昌	(359)
查理·义律	(360)
宫崎寅藏	(365)

十 画

桂 良	(368)
耆 英	(370)
聂士成	(371)
夏曾佑	(373)
载 沅	(374)
载 湉(光绪帝)	(375)
袁 昶	(388)
袁世凯	(389)
倭 仁	(400)
翁同龢	(402)
铁 良	(407)
徐 寿	(408)
徐 润	(412)
徐 骧	(414)
徐世昌	(415)
徐邦道	(418)
徐建寅	(419)
徐锡麟	(424)
容 闳	(426)
郭嵩焘	(432)
唐才常	(436)

唐廷枢.....	(438)
唐绍仪.....	(440)
唐继尧.....	(441)
唐景崧.....	(444)
陶 模.....	(445)
陶成章.....	(446)

十 一 画

萧朝贵.....	(449)
盛宣怀.....	(450)
龚自珍.....	(458)
曹 锟.....	(462)
曹汝霖.....	(464)
黄 兴.....	(466)
黄佐卿.....	(476)
黄遵宪.....	(477)
黄爵滋.....	(479)
崇 厚.....	(480)
康广仁.....	(482)
康有为.....	(483)
章太炎.....	(495)
梁启超.....	(497)

十 二 画

塔齐布.....	(508)
琦 善.....	(509)

蒋翊武.....	(510)
焦达峰.....	(513)
程学启.....	(515)
程德全.....	(516)
程璧光.....	(517)
裕 谦.....	(520)
曾纪泽.....	(521)
曾国荃.....	(523)
曾国藩.....	(525)

十三画

雷再浩.....	(538)
蒲安臣.....	(539)
蒲殿俊.....	(541)
鲍 超.....	(543)
詹天佑.....	(544)
溥 仪.....	(545)

十四画

赫 德.....	(547)
蔡 锷.....	(557)
蔡元培.....	(567)
毓 贤.....	(569)
端 方.....	(570)
赛尚阿.....	(572)
谭人凤.....	(573)

谭延闿	(575)
谭绍光	(579)
谭嗣同	(581)
熊克武	(586)
熊希龄	(588)
僧格林沁	(591)

十五画

黎元洪	(593)
黎庶昌	(597)
额能作	(599)
潘鼎新	(601)

十六画

薛 焕	(602)
薛福成	(603)
穆彰阿	(605)

十七画

魏 源	(608)
-----	-------

后 记	(616)
-----	-------

二 画

丁 日 昌

丁日昌（1823～1882），字禹生，又作雨生，广东省丰顺县汤坑人。他出生在一个世代务农的穷人家庭，12岁丧父，19岁中秀才，后屡应举不第。1854年率乡勇参与平定潮州吴忠恕之乱，1857年以此功被授琼州府学训导，1859年又被授江西万安知县，1861年调摄吉安府庐陵县令，因太平军破城革职；投曾国藩幕，条陈进军策略，提出整饬吏治建议，颇受赏识，被派往广东督办厘务、军械，显示出卓越的才能。1868年被李鸿章奏调上海督造军火，1864年署苏松太道，建立了中国第一个近代工厂——江南机器制造总局。1865年10月升两淮盐运使；1867年初升苏州布政使，12月再升江苏巡抚，1870年夏受命协同处理天津教案。在江苏任中，他曾第一个提出建立中国近代海军的建议，又极力促成中国近代史上第一次向国外派遣留学生的活动，使中国“在引进西方科学方面迈进了第一步”。1875年6月复出，任帮办北洋通商事务大臣，9月任福建船政大臣，12月，任福建巡抚兼台湾学政；1878年5月因病奏请开缺；1879年5月上谕加总督衔会办南洋海防、兼理各国事务大臣（未受），1882年2月于广东省揭阳县寓内病逝。从这张简历可以看出，丁日昌走上政治舞台是在19世纪60年代初期，正是洋务运动——中国的近代化开始之日。丁日

昌一生的事业，与中国的近代化是密不可分的，他对近代化有着不可磨灭的贡献。

丁日昌出生的时候，世界早就进入了资本主义时代，而中国仍然处在“野蛮的、闭关自守的与文明世界隔绝的状态”，不但在政治上还是一个古老的封建帝国，远远落后于世界历史的进程，而且在经济、军事、文化、教育、科学技术等各个方面，都落后于西方一个世纪以上。西方的主要国家已经基本上完成近代化，从封建君主制发展到资产阶级民主制，从自然经济发展到商品经济，从手工生产发展到机器生产，思想摆脱了神学的束缚，文化科学技术都迅猛地发展起来。中国在各个方面都已落后，可悲的是，统治者们对这一切一无所知，依然沉浸在“天朝大国”、“中央王国”的梦呓之中。然而，在近代世界上，在西方资本主义的炮舰政策面前，落后就要挨打，就要受侵略。中国向何处去？怎样才能避免覆国的危险？林则徐和魏源提出：“师夷长技”，从而揭开了中国近代化运动的序幕，但是真正开始进行近代化实际工作的是所谓的“洋务派”。洋务派朦胧认识到：

“新的工业的建立已成为一切文明民族的生命攸关的问题”。用丁日昌的话来说就是“识时务者莫不以采西学、制洋器为自强之道”。丁日昌就是这样一个识时务者。他较早地看清了当时中国面临着沦为殖民地的险恶形势，指出“印度前车之鉴，可为寒心”，因此，他时时“留心西人秘巧”，“熟思所以自强之策”、“拒虎狼之方”。这个“拒虎狼之方”就是：用机器生产，实现工业化、近代化，使中国迅速赶上西方。

丁日昌为中国的近代化所做的第一个贡献是，为建立近代工业不遗余力，参与建立了中国近代第一批最重要的工厂。1865年购买了当时上海最大、设备最好的“能修造大小轮船及开花